

事業番号

2023 - 官房 - 22 - 0014

令和5年度行政事業レビューシート				( 内閣官房 )			
事業名	孤独・孤立対策担当室経費			担当部局庁	内閣官房副長官補		作成責任者
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	孤独・孤立対策担当室		参事官 澤瀬 正明 参事官 松木 秀彰
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	孤独・孤立対策の重点計画(令和4年12月26日 孤独・孤立対策推進会議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2023(令和5年6月16日閣議決定)		
政策	-				主要経費	その他の事項経費	
施策	-						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的(5行程度以内)	孤独・孤立対策においては、孤独・孤立の問題やそれらから生じ得るさらなる問題に至らないようにする「予防」の観点が必要であり、当事者や家族等が支援を求める声を上げやすい社会を目指して取り組むとともに、孤独・孤立対策に取り組むNPO等の活動をきめ細かく支援し、官・民・NPO等の連携を強化する。						
現状・課題(5行程度以内)	孤独・孤立の問題は、地域・家庭・職場における人と人との「つながり」や人間関係の希薄化に加えて、コロナ禍の影響により、一層深刻化・顕在化している。また、今後の単身世帯や単身高齢世帯の増加により、孤独・孤立の問題の更なる深刻化が懸念される。						
事業概要(5行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の推進に当たり、孤独・孤立の実態を的確に把握するため、孤独・孤立の実態把握に関する全国調査を実施する。</li> <li>・孤独・孤立の問題に対してNPO等の支援機関単独では対応が困難な実態があることを踏まえ、民・民及び官・民・NPO等の取組の連携強化の観点から、各種相談支援機関やNPO等の連携の基盤となる全国的なプラットフォームの活動を促進することにより、人と人との「つながり」を実感できる地域づくりや社会全体の機運の醸成を図りつつ、官・民一体で孤独・孤立対策の取組を推進する。</li> <li>・NPO等活動を熟知した中間支援組織による孤独・孤立対策に取り組むNPO等の運営能力の向上や活動基盤整備のための支援モデルを構築し、全国展開を図る。</li> </ul>						
事業概要URL	<a href="https://www.cas.go.jp/ip/seisaku/kodoku_koritsu_taisaku/index.html">https://www.cas.go.jp/ip/seisaku/kodoku_koritsu_taisaku/index.html</a>						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	-	21	130.8	231.2	-
		補正予算(B)	-	-	771.5	742	-
		令和5年度第1次補正予算	-	-	-	742	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	764.3	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	▲764.3	-	-
		予備費等(E)	-	-	959.6	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	21	1,097.6	1,737.5	-
		執行額(G)	-	8	658	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	38%	60%	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	38%	73%	-	-		
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	内閣官房共通費					
	(目)	重要政策基礎調査委託費	147				
	(目)	庁費	71				
	(目)	職員旅費	5				
	(目)	非常勤職員手当	4				
	(目)	委員等旅費	3				
	その他	2	-				
	計(A)	231.2	-				

活動内容① (アクティビティ)		孤独・孤立の実態調査								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		孤独・孤立の実態の把握	孤独・孤立の実態把握に関する全国調査(人々のつながりに関する基礎調査)の実施件数	活動実績	件	-	1	1		
				当初見込み	件	-	1	1	1	
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		調査結果を各府省における孤独・孤立対策の関連行政諸施策の基礎資料として活用するためには、調査の実施と調査結果の公表を予定どおりに行うことが重要であるため、成果目標として、「所定のスケジュールに基づき遅滞なく公表する」として設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		調査結果を所定のスケジュールに基づき、遅滞なく公表する。	調査企画時に定めた公表スケジュールの達成率	成果実績	件	-	1	1	-	
				目標値	件	-	1	1	-	
				達成度	%	-	100	100	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		調査の公表実績 <a href="https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodoku_koritsu_taisaku/zittai_tyosa/zenkoku_tyosa.html">https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodoku_koritsu_taisaku/zittai_tyosa/zenkoku_tyosa.html</a>								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		調査結果を継続的に公表することで、経年分析も可能となり、データの有用性が高まる。これによって、より効果的な孤独・孤立対策の関連行政諸施策への見直しに活用されることが考えられるため、成果目標(長期アウトカム)として設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		より効果的な孤独・孤立対策の関連行政諸施策の見直しへの活用	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		関連行政諸施策の見直しへの活用として、孤独・孤立対策の重点計画に関する有識者会議における議論 <a href="https://www.cas.go.jp/ip/seisaku/iuten_keikaku/index.html">https://www.cas.go.jp/ip/seisaku/iuten_keikaku/index.html</a>								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		調査結果が孤独・孤立対策の関連行政諸施策の見直しにどのように反映されたかは、定量的な評価になじまないため								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

<b>活動内容② (アクティビティ)</b>	孤独・孤立の問題に対してNPO等の支援機関単独では対応が困難な実態があることを踏まえ、民・民及び官・民・NPO等の取組の連携強化の観点から、各種相談支援機関やNPO等の連携の基盤となる全国的なプラットフォームの活動を促進することにより、人と人との「つながり」を実感できる地域づくりや社会全体の機運の醸成を図りつつ、官・民一体で孤独・孤立対策の取組を推進する。													
↓														
<b>活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)</b>	<b>活動目標</b> 孤独・孤立対策官民連携プラットフォームにおいて、孤独・孤立に係る課題等について対応策等を議論し、提言等を行う。	<b>活動指標</b> 孤独・孤立対策官民連携プラットフォームにおいて提言等を行った件数	<table border="1"> <tr><td>活動実績</td></tr> <tr><td>当初見込み</td></tr> </table>	活動実績	当初見込み	<b>単位</b> 件	<b>令和2年度</b> -	<b>令和3年度</b> -	<b>令和4年度</b> 3	<b>5年度 活動見込</b> 3	<b>6年度 活動見込</b> 			
活動実績														
当初見込み														
↓	<b>成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)</b>	孤独・孤立対策の重点計画(令和4年12月26日策定)において、孤独・孤立政策がより効果的なものとなるよう、NPO等との現場の実態等に関する情報の共有、提言等への反映により官民一体で孤独・孤立対策の取組を推進することが求められているため。												
<b>成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)</b>	<b>成果目標</b> 「孤独・孤立対策に関する有識者会議」及び「孤独・孤立対策推進会議」における審議等を経て、孤独・孤立対策官民連携プラットフォームにおける提言等について国の孤独・孤立政策の重点計画に反映されるようにする。	<b>定量的な成果指標</b> 提言等について国の孤独・孤立対策に反映された件数	<table border="1"> <tr><td>成果実績</td></tr> <tr><td>目標値</td></tr> <tr><td>達成度</td></tr> </table>	成果実績	目標値	達成度	<b>単位</b> 件	<b>令和2年度</b> -	<b>令和3年度</b> -	<b>令和4年度</b> 3	<b>目標年度</b> <table border="1"> <tr><td>5</td></tr> <tr><td>年度</td></tr> </table>		5	年度
成果実績														
目標値														
達成度														
5														
年度														
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>	孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの活動 <a href="https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodoku_koritsu_platform/index.html">https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodoku_koritsu_platform/index.html</a>													
↓	<b>成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)</b>	官民連携プラットフォームの提言等が国の政策に反映されることにより、全国各地での官民・民の連携が広がり、より効果的な孤独・孤立対策が推進されることが期待できるため。												
<b>成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)</b>	<b>成果目標</b> 全国各地に、孤独・孤立対策に関する官民連携が広がり、孤独・孤立政策が充実する。	<b>定量的な成果指標</b> -	<table border="1"> <tr><td>成果実績</td></tr> <tr><td>目標値</td></tr> <tr><td>達成度</td></tr> </table>	成果実績	目標値	達成度	<b>単位</b> -	<b>令和2年度</b> -	<b>令和3年度</b> -	<b>令和4年度</b> -	<b>目標最終年度</b> <table border="1"> <tr><td>-</td></tr> <tr><td>年度</td></tr> </table>		-	年度
成果実績														
目標値														
達成度														
-														
年度														
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>	孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの活動 <a href="https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodoku_koritsu_platform/index.html">https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodoku_koritsu_platform/index.html</a>													
<b>アウトカム設定について の説明</b>	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由 全国各地での官民連携の推進による孤独・孤立対策の質的な向上を定量的なアウトカムで示すことは困難なため。 アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由 -													

活動内容③ (アクティビティ)		孤独・孤立対策活動基盤整備モデル調査								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		新しい政策分野である孤独・孤立対策の効果的な取組モデル調査のため、中間支援NPO等に委託する。	委託団体数	活動実績	団体	-	-	-		
				当初見込み	団体	-	-	-	10	
↓		成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		孤独・孤立対策には、現場に寄り添った活動を行う地域のNPO等の参画が不可欠であり、これらの運営能力の向上や活動基盤整備を図つつ、取組モデルを構築する必要があるため。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		委託団体の先駆的な取組により、地域のNPO等の運営能力の向上や活動基盤整備を図りつつ、取組モデルを構築する。	モデルの数	成果実績	件	-	-	-		
				目標値	件	-	-	-	10	
				達成度	%	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
↓		成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		地域のNPO等の運営能力の向上や活動基盤整備のための取組モデルを全国展開することが有効であるため。								
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		構築した取組モデルの全国展開を図り、モデルを踏まえた新規の取組が開始される。	取組の数	成果実績	件	-	-	-		
				目標値	件	-	-	-	10	
				達成度	%	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
↓		成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		取組モデルを踏まえた新規の取組の効果が発揮されることが、地域のNPO等の運営能力の向上や活動基盤整備につながるため。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		取組モデルを踏まえた新規の取組の効果が発揮される。	効果が発揮された取組の数	成果実績	件	-	-	-		
				目標値	件	-	-	-	10	
				達成度	%	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								
事業に関連する KPIが定められて いる関連決定等		名称	-							
		URL	-							
		該当箇所	-							

事業所管部局による点検・改善									
点検結果	・アクティビティ①及び②について、順調に目標を達成しており、適切に予算を執行している。 ・アクティビティ③については、令和5年度からの事業である。					目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)			
改善の方向性	引き続き適切に取り組む。								
外部有識者の所見									
<small>もう少しスケジュールや進捗が分かるような書き方をしたい。少なくとも「プログラム」という言葉を使っているのであれば、「プログラム評価」(program evaluation)を意識した評価の組み立てを考えたほうがよい。①目標体系図、②インプットからアウトカムまでのロジック図、③いつまでに、どうするのかのスケジュール(進捗)をシンプルに、分かり易く書いて欲しい。なお、実態調査を行い、それを施策に反映させる努力については、古くは内閣府男女共同参画局の苦情処理・監視専門調査委員会、ならびに男女共同参画影響調査研究会の活動がある。</small>									
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見									
現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めることとし、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。また、外部有識者の所見に関し、検討すること。								
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況									
現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努める。また、内閣官房の事業としては令和5年度で終了し、令和6年度からは内閣府が引き継ぐこととなるため、外部有識者の所見を踏まえたうえで内閣府として分かり易いレビューシートの作成に努めたい。								
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ								
	上記への対応状況								
	その他の指摘事項								
上記への対応状況									
備考									
関連する過去のレビューシートの事業番号									
平成23年度									
平成24年度									
平成25年度									
平成26年度									
平成27年度									
平成28年度									
平成29年度									
平成30年度									
令和元年度									
令和2年度									
令和3年度	2021	官房	新22	0002					
令和4年度	2022	官房	21	0019					

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)

内閣官房  
658百万円

【一般競争契約(総合評価)等】

A. 民間企業・団体(11者)  
618百万円

地方版孤独・孤立対策官民連携PF調査研究業務、  
「統一的な相談窓口体制の推進」に係る調査研究業務 他

【随意契約(少額)】

B. 民間企業・団体(25者)  
12百万円

有識者会議に係る運営等業務、  
広報用の番組作成等業務 等

C. 個人等(30者)  
6百万円

非常勤職員手当、  
会議出席謝金 等

その他 行政事務経費 22百万円

※ 四捨五入の関係で、合計(内閣官房)は必ずしも一致しない。

A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
調査研究委託費	地方版孤独・孤立対策官民連携PF調査研究業務	154	委託費	有識者会議に係る運営等業務	3
計		154	計		3
C.			D.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
非常勤職員手当	非常勤職員手当	4			
計		4	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社野村総合研究所	4010001054032	地方版孤独・孤立対策官民連携PF調査研究業務①	90.3	一般競争契約 (総合評価)	2	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。
2	株式会社野村総合研究所	4010001054032	地方版孤独・孤立対策官民連携PF調査研究業務②	63.5	一般競争契約 (総合評価)	2	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。
3	株式会社船井総合研究所	5120001180782	地方版孤独・孤立対策官民連携PF調査研究業務	88.8	一般競争契約 (総合評価)	1	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。
4	株式会社日本総合研究所	4010701026082	地方版孤独・孤立対策官民連携PF調査研究業務	87.3	一般競争契約 (総合評価)	3	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。
5	一般社団法人日本産業カウンセラー協会	6010405001009	「統一的な相談窓口体制の推進」に係る調査研究業務	84.3	一般競争契約 (最低価格)	1	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。
6	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	1010001143390	地方版孤独・孤立対策官民連携PF調査研究業務	63.3	一般競争契約 (総合評価)	3	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。
7	一般社団法人社会的包摂サポートセンター	6010005017669	「統一的な相談窓口体制の推進」に係る調査研究業務	44.1	一般競争契約 (最低価格)	1	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。
8	株式会社サーベイリサーチセンター	6011501006529	孤独・孤立の実態把握のための全国調査業務	41.8	一般競争契約 (総合評価)	1	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。
9	一般社団法人RCF	1010405009898	NPO法人等の連携促進等に関する調査研究業務	25.7	一般競争契約 (総合評価)	2	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。
10	株式会社NanNaru	8010001198494	WEBサイト保守に係る業務	19.4	一般競争契約 (最低価格)	1	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。
11	株式会社NanNaru	8010001198494	WEBサイトの多言語化に係るコンテンツ等制作	5.5	一般競争契約 (最低価格)	2	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。
12	株式会社Swimmy	8010401148405	WEBサイトの多言語化に係る翻訳業務	2.3	一般競争契約 (最低価格)	12	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ライダース・パブリシティ	4010001031808	有識者会議に係る運営等業務 6件	3.2	随意契約(少額)	-	-	-
2	株式会社GoGoMarke	6010901043388	広報用の番組作成等業務 2件	1.5	随意契約(少額)	-	-	-
3	株式会社小学館ミュージックアンドデジタルエンタテインメント	8010001018933	広報用の番組作成等業務	1	随意契約(少額)	-	-	-
4	特定非営利活動法人OVA	4011005005946	WEB広告(リスティング広告)業務委託	0.9	随意契約(少額)	-	-	-
5	株式会社放送サービスセンター	4011101019544	駐日大使会合に係る会議運営	0.9	随意契約(少額)	-	-	-
6	株式会社エアクレーレン	4010401004009	資料の翻訳業務	0.7	随意契約(少額)	-	-	-
7	株式会社NanNaru	8010001198494	WEB広告(リスティング広告)業務委託等	0.6	随意契約(少額)	-	-	-
8	株式会社サイマル・インターナショナル	6010001109206	通訳業務等	0.6	随意契約(少額)	-	-	-
9	NECネットエスアイ株式会社	6010001135680	駐日大使会合に係る中継業務	0.5	随意契約(少額)	-	-	-
10	株式会社アクロスベラ	5010001103481	Microsoftライセンスの調達	0.4	随意契約(少額)	-	-	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	資金前渡官吏	-	非常勤職員手当	3.8	その他	-	-	-
2	一般社団法人社会的包摂サポートセンター	6010005017669	会議出席謝金等	0.3	その他	-	-	-
3	個人A	-	委員等旅費、会議出席謝金	0.2	その他	-	-	-
4	個人B	-	委員等旅費、会議出席謝金	0.2	その他	-	-	-
5	一般社団法人日本ののちの電話連盟	8010005014425	会議出席謝金	0.1	その他	-	-	-
6	個人C	-	委員等旅費、会議出席謝金	0.1	その他	-	-	-
7	個人D	-	委員等旅費、会議出席謝金	0.1	その他	-	-	-
8	個人E	-	委員等旅費、会議出席謝金等	0.1	その他	-	-	-
9	個人F	-	会議出席謝金等	0.1	その他	-	-	-
10	個人G	-	会議出席謝金等	0.1	その他	-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	